

## アルストロメリア栽培実証展示計画（平成30年度）

### 1. 目的

施設花きの主要品目であり、一時期より生産は減少しているものの、ユリと並ぶ大規模化が可能であり、産直品目としても定着している。そこでため、主要品種、新規品種を展示栽培し収量性等を調査し、アルストロメリア生産者の経営安定の参考に資することを目的とする。

### 2. 栽培概要

#### (1) 供試品種

福花園種苗(株) (RoyalVanZanten 社育成品種)、横浜植木(株) (konst 社育成品種)、タキイ種苗(株) (Hilverda 社育成品種)、新井清太郎商店 (Ball Columbia 社育成品種) の協力により試作展示を実施。定植後4年間継続して栽培。

栽培品種数、株数

定植年	RVZ	konst	Hilverda	BC	合計 品種数	合計 株数
2015	5	18	9	-	32	100
2016	6	15	6	-	27	144
2017	-	11	12	-	23	100
2018	6	8	8	5	27	142
合計	17	52	35	5	109	486

※RVZ: Royal Van Zanten BC: Ball Columbia

※品種名は別表参照

#### (2) 耕種概要

ア 定植日（平成30年予定定植株142株）

平成30年5月下旬（3月下旬、4月下旬に到着した苗を鉢上げし、株養成してから定植）

イ 植栽距離

床幅80cm（木枠）、通路幅60cm、株間40cm、1条植え

ウ 施肥量

基肥（定植時）：N・P・K各成分量1.0kg/a（CDUたまご化成）

追肥：窒素6～7.5g/m<sup>2</sup>/月（CDUたまご化成）

#### (3) 遮光

定植後及び強光時遮光を実施（遮光率50%）

#### (4) 地中冷却

平成30年7月1日～9月31日、冷却水温14℃に設定

#### (5) 温度管理

冬期間は最低気温8℃で管理

#### (6) 収量調査

品種別、地冷の有無別に収穫本数を確認

[採花調査]

- ・調査期間：4月～3月、ただし7月、8月は高温期により開花が少なく採花なし  
1年目株は5月定植で9月から採花
- ・各花梗の第1花がほぼ満開になった時点で採花
- ・茎の太さが一定以上で花梗数4本以上のものを採花本数とする
- ・茎が一定以上の太さで曲がりがなく、花梗数が5本以上のものを上位品とする

### 3. 実証内容の周知

(1) 実証展示状況は、生産者は見学可能とする。

(2) 実証展示をもとに、種苗会社を招き研修会を11月下旬に研修会を開催。

(3) 収量等の調査データは、取りまとめの上花きセンターホームページに公開する。